

ビジョン

自然とアートを核に稼いで潤う持続的な観光地域づくり

課題とミッション

観光による潤いの平準化

- ・繁忙期における利益の最大化
- ・高付加価値化商品の不足
- ・閑散期(冬季)の観光需要への対応
- ・現代アートの高付加価値化
- ・冬季観光における温暖化への対応

サステナブルな観光地域づくり

- ・観光人材の不足・DX化の遅れ
- ・シビックプライドの欠如
- ・オーバーツーリズム対策
- ・環境保全の仕組みの欠如
- ・青楓山バイパス完成後の対応
- ・アクティビティコンプライアンス欠如
- ・観光人材の高齢化・事業承継

上質な観光サービス

- ・二次交通などの交通インフラ整備
- ・滞在型ホテルの不足
- ・空き地・空き店舗の増加
- ・食サービスの提供施設不足
- ・建物の老朽化・廃屋の増加
- ・遊覧船(廃船)の放置、不法係留
- ・休屋廃屋撤去後の土地再利用への対応

KPI(観光目標)

観光目標	目標値	令和6年実績
旅行消費額 (1人当たり)	35,000円	31,092円
延べ宿泊者数	332,000人泊 (74,000人泊)	310,957人泊 (71,278人泊)
来訪者満足度	95% (95%)	97.6 (93.3)

※()は外国人

参考指標	最新値
リピーター率	59.8%
連泊率	14.5%
推奨度(NPS)	-

顧客ターゲット

国内旅行者	①子育て前の夫婦での旅行者 ②50～70代の夫婦での旅行者 ③ひとり旅の旅行者
外国人旅行者	台湾からの旅行者

重点項目

①観光コンテンツの充実	魅力的なコンテンツを創出し、観光旅行者の消費額拡大や滞在日数の増加を図る。
②まちなかへの宿泊施設の誘致	宿泊施設が不足しているまちなかに宿泊施設を誘致し、観光旅行者の消費額拡大や滞在日数の増加を図る。
③二次交通の充実	主要な鉄道駅や空港と観光地を結ぶ二次交通の充実させ、観光客の大都市圏から地方への流れの創出を図る。
④休屋廃屋撤去後の土地再利用への対応	十和田湖1000年会議で進めている先端モデル事業に対応した取組を実施し、保護と利用の好循環の仕組みづくり等を行う。

①観光コンテンツの創出・定着	アドベンチャーツーリズムの推進【重点①】	自然やアートを活かしたアドベンチャーツーリズムを推進
	ナイトタイムエコノミーの充実	早朝・夜間に行われる体験活動の充実
	冬季観光コンテンツの充実【重点①】【新規】	閑散期の底上げとして冬季の観光コンテンツの充実
	既存観光資源の活用	既存観光資源の磨き上げ・効果的な周知
	周遊コンテンツの造成【新規】	市が有する豊富な観光資源・要素の組合せ・活用
	現代アートの活用・収益化【重点①】	現代アートの街ならではの高付加価値化、収益化
	グルメ・お土産の開発・改良【重点①】【新規】	新たな商品の開発や既存商品のブラッシュアップ
②受入環境の整備・充実	ガイドの育成	コンテンツを整備、高付加価値化するため、ガイドを育成
	まちなかへの宿泊施設の誘致【重点②】【新規】	現代アート客とマッチする宿泊施設の誘致
	食サービス提供施設の誘致	観光客向けの食サービス施設の誘致
	観光拠点施設の整備	必要な整備を行い、上質な観光サービスを提供
	休屋廃屋撤去後の土地再利用への対応【重点④】【新規】	休屋廃屋撤去後の土地再利用の推進
	青楓山バイパス完成後の交通規制への対応	「車のいない奥入瀬」に向けた対応を検討
	二次交通の整備【重点③】【新規】	主要な鉄道駅や空港と観光地を結ぶ二次交通を整備
③持続可能な観光産業の確立と生産性の向上	地域内交通の充実【新規】	観光地域内の観光スポットに行くための手段を確保
	観光DXの推進	デジタル技術を活用した業務改善
	担い手の確保・育成	観光事業者や従事者の確保・育成の場を整備
	旅行ニーズの把握と活用	デジタルマーケティングを活用した旅行ニーズの把握と活用
	シビックプライドの醸成	地域の再発見と市民の地域資産に対する関心度の向上
	奥入瀬溪流エコツーリズムの推進	奥入瀬溪流内の適正な保全と利用のルールの周知
	日本版持続可能な観光ガイドラインの導入【新規】	日本版持続可能な観光ガイドラインの導入の検討
④国内外からの誘客強化	外部専門人材の活用	専門家による各分野の支援を展開
	十和田ファンを増やす情報発信【新規】	イベントや食文化、観光コンテンツの効果的な情報発信
	関係人口のコミュニティ形成	旅行以上移住未満のプログラムの活用
	ふるさと納税の活用	魅力ある返礼品の開発やふるさと納税を活用した情報発信
	観光MaaSの導入	交通機関や観光施設のワンストップサービスの導入の研究
	広域観光の連携	複数の観光地のそれぞれの特性を活かした連携
	観光セミナー・商談会でのPR【新規】	観光セミナーや商談会でのPR・旅行商品の開発
MICE、教育旅行の誘致	MICE、教育旅行に対応できるような滞在プログラムの開発	